

平成 23 年 7 月 25 日

第 22 回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会実施報告書

実施日： 平成 23 年 7 月 22 日（金） 12：00～23 日（土） 11：40

会場： ホテル霧島キャッスル （鹿児島県霧島市牧園町高千穂 3878-49）

参加者総数： 1 日目） 118 名（学生 92 名、教職員・一般 26 名）

2 日目） 119 名（学生 92 名、教職員・一般 27 名）

担当校： 鹿児島大学（甲斐研究室）

総合責任者	中里 勉（鹿児島大学甲斐研究室）
学生代表	飯隈洋一（鹿児島大学甲斐研究室）
庶務	田代祐也（鹿児島大学甲斐研究室）・ 片山皓介（鹿児島大学甲斐研究室） 梅尾清志郎（鹿児島大学甲斐研究室） 久保喜信（鹿児島大学甲斐研究室） 馬崎和樹（鹿児島大学甲斐研究室） 砂田真希（鹿児島大学甲斐研究室）

討論会実施内容

1 会場制の合宿形式で行った。第 1 日目は会場をパーティションで 2 つに分け、学生企画、企業説明セッション、ポスターセッションを交互に回す形で行い、第 2 日目はパーティションを取りスクール形式に机を並べて Q・NET 企画講演を 3 件実施した。

別紙 1 プログラムに従い、第 1 日目 12：00 より参加者受付、開会式に引き続き、下記に示す学生企画を 13：05 より 15：05 まで実施した。

学生企画 「共同作業を通して学生自らが考え、動く大学間交流」を目指した工作大会

大学や研究室をまたいだ 4～5 人程度のグループをつくり、与えられた課題をクリアするためお互いがアイデアを出しながら共同で物を工作していくという内容で実施した。これによりグループ内の全員がコミュニケーションを取りながら能動的に物事を考え、同じ目的に向かって意見交換しながら共同作業を行うことが可能となる学生の、大学間をまたいだ交流が深まった。教員グループも 4 チーム用意され、合計 24 チームで競い合った（別紙 2-1 写真）。

この企画について大学関係者から、「新入生合宿に是非取り入れたい素晴らしい企画」と称され、好評を得た。しかし、遠方からの参加でこの企画に参加できなかった大学グループ（大分大学）もあり、反省点を残した。

企業説明セッション

15:25より16:10まで企業説明セッションを実施した。企業説明のあった会社は旭硝子株式会社、住友化学株式会社の2社であった。参加の学生92名を2班に分け、前半と後半に分けて1社につき20分程度企業説明セッションを実施し、その後班を入れ替えて行った（別紙2-2写真）。

ポスター発表

企業説明セッション後の小休憩をポスター展示時間に充て、16:15からポスターセッションを実施した（奇数番45分+休憩5分+偶数番45分）（別添2-3写真）。90件のエントリーのうち、欠席2件（うちポスター展示のみ1件）、審査対象は88件であった。参加者全員が審査員となり、教員票は学生票の3倍の得点として投票によりポスター審査を実施し、上位12名をポスター賞受賞者として選出した。ポスター賞受賞者と獲得ポイントを以下に示す。ポスター賞受賞式は2日目に行い、賞状と副賞（図書券3,000円）を授与した。

- 1位 吉野陽文（北九州市立大学 中澤研究室） 13点（教員票4、学生票1）
- 2位 古賀晴香（北九州市立大学 中澤研究室） 12点（教員票3、学生票3）
- 3位 飯隈洋一（鹿児島大学 甲斐研究室） 11点（教員票2、学生票5）
- 4位 二井手哲平（九州大学 後藤・神谷研究室） 10点（教員票3、学生票1）
- 4位 村上海菜子（熊本大学 後藤研究室） 10点（教員票2、学生票4）
- 6位 小藤菜緒（鹿児島大学 筒井研究室） 9点（教員票3、学生票1）
- 7位 緒方裕太郎（九州大学 三浦研究室） 7点（教員票2、学生票3）
- 7位 木幡佳奈子（北九州市立大学 吉塚・西浜研究室） 7点（教員票1、学生票4）
- 7位 高橋良尚（鹿児島大学 吉田研究室） 7点（教員票0、学生票7）
- 7位 手島裕貴（九州大学 前田・宮崎研究室） 7点（教員票2、学生票1）
- 11位 富田果林（熊本大学 後藤研究室） 6点（教員票1、学生票3）
- 11位 今村佳奈（九州大学 後藤・神谷研究室） 6点（教員票1、学生票3）

ポスター発表終了後にポスターを撤去し、パーティションをはずして懇親会会場を設営した。懇親会は19:00から開始し、研究室紹介、「工作大会」の表彰式も合わせて行われ、盛況であった。

第2日目は、Q・NET企画の講演3件を実施した（別紙2-4写真）。

Q・NET企画「学生へのメッセージ」

講演1 「アジアの中の九州ケミカルエンジニア」 三島健司氏（福岡大学准教

授)

講演2 「学生へのメッセージ」 日高隆太氏 (京セラ株式会社)

講演3 「鉄鋼業から見た日本企業の近況と未来、そして・・・」 柏原司氏 (新日本製鐵株式会社)

その後、ポスター賞授賞式、総合討論、会計報告、アンケート調査を行い、閉会、解散とした。

(別紙1)

第22回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会プログラム

プログラム (※ プログラムは多少変更する場合があります。)

【第1日目 平成23年7月22日(金)】

	会場
12:00~13:00 参加受付	ホール
13:00~13:05 開会式	大宴会場 (霧島・中岳)
13:05~15:05 学生企画 ※片づけを含む	大宴会場 (霧島・中岳)
15:05~15:25 休憩 (20分)	
15:25~16:35 企業説明セッション	大宴会場 (新燃)
16:35~16:50 休憩 (15分)	
16:50~17:35 ポスターセッション (学生 奇数番号)	大宴会場 (霧島・中岳)
17:35~17:40 休憩 (5分)	
17:40~18:25 ポスターセッション (学生 偶数番号)	大宴会場 (霧島・中岳)
18:25~19:00 ポスター撤去・休憩 (35分)	
19:00~21:00 懇親会	大宴会場 (霧島・中岳)
21:00 一日目終了	

【第2日目 平成23年7月23日(土)】

9:00~11:00 Q・NET企画「学生へのメッセージ」	大宴会場 (霧島・中岳)
9:00~9:40 講演1 「アジアの中の九州ケミカルエンジニア」	
三島 健司 氏 福岡大学准教授	
9:40~10:20 講演2 「学生へのメッセージ」	

日高 隆太 氏 京セラ株式会社

10:20-11:00 講演3 「鉄鋼業からみた日本企業の近況と未来、そして・・・」

柏原 司 氏 新日本製鐵株式会社

11:05~11:20 ポスター賞授賞式

11:20~11:35 総合討論

11:35~11:40 閉会の挨拶

11:40 解散